

令和2年度 第3回 大分市総合教育会議

日時 : 令和2年10月7日(水) 10:00~11:00

場所 : 大分市教育センター 4階 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) キャリア教育について

- ① キャリア教育の取組事例について
- ② 本市におけるキャリア教育の取組について

3. 閉 会

令和2年度 第3回総合教育会議

10月7日(水) 10:00~
大分市教育センター4階大会議室

スクリーン

市長

岡野委員

プロジェクター

教育長

古城(一)委員

古城(和)委員

佐藤委員

上杉委員

記者席

坪根 教育監
審議監

教育 企画
部長 部長

広瀬 企画部
審議監 高橋次長

学校教育 体育保健
課長 課長

教育総務 教育部
課長 桑野次長

企画 商工労政
課長 課長

各課担当 社会教育
課長

各課担当

各課担当

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

傍聴席

入口

大分市立小中学校におけるキャリア教育

～「縦と横の連携」で育てよう、大分っ子！～

大分市教育委員会

キャリア教育とは・・・

「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達[※]を促す教育」

※社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程を「キャリア発達」という。
(中央教育審議会答申 平成23年1月)

＜小学校及び中学校においてキャリア教育で育成すべき力＞

基礎的・汎用的能力
社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力

○人間関係形成・社会形成能力

(例) 他者の個性を理解する力、コミュニケーション・スキル、リーダーシップなど

○自己理解・自己管理能力

(例) 自己の役割の理解、自己の動機付け、忍耐力、主体的行動など

○課題対応能力

(例) 情報の理解・選択・処理、課題発見、計画立案、実行力など

○キャリアプランニング能力

(例) 学ぶこと・働くことの意味の理解、生き方の多様性の理解、将来設計など

本市におけるキャリア教育の位置付け

大分市総合計画「おおいた創造ビジョン2024」
第2次基本計画

○社会の変化への対応
一人ひとりの社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進に努めます。

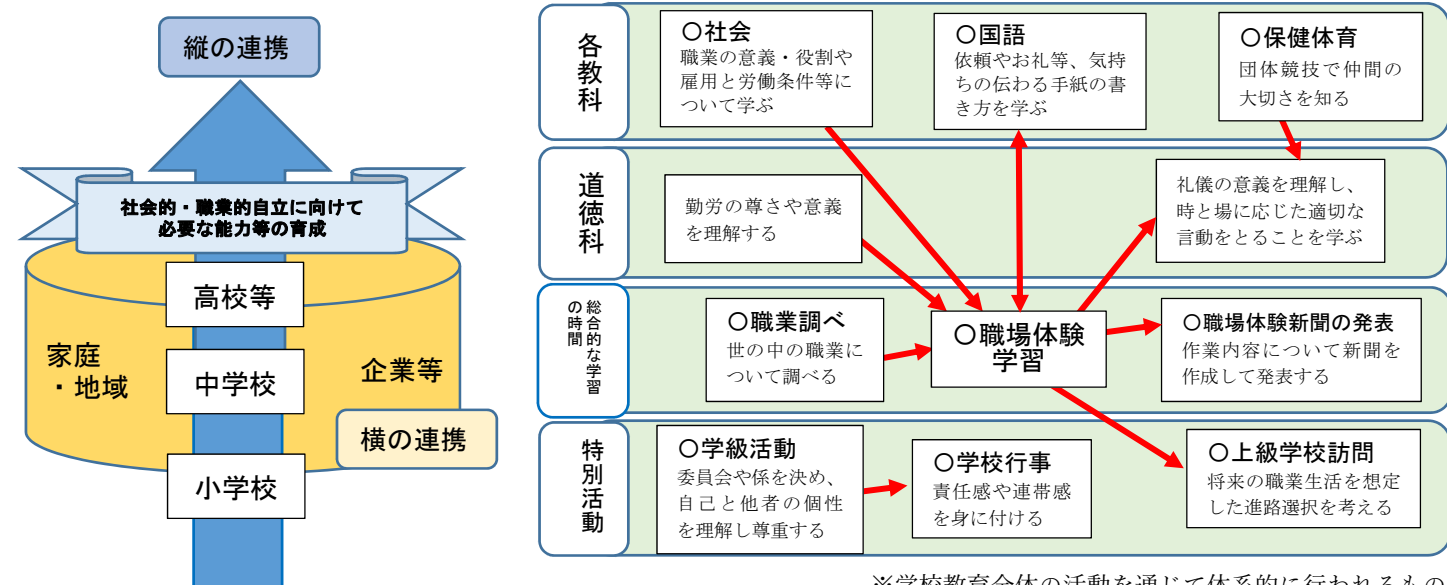
大分市教育ビジョン2017 第Ⅱ期基本計画

○地域社会との連携・協力を推進し、望ましい勤労観・職業観を育てる職場見学・職場体験学習等の啓発的経験の場を充実するとともに、キャリア教育コーディネーター等を活用し、職業講話を実施するなど、地域や学校の実態に即した組織的・系統的なキャリア教育の推進に努めます。

令和2年度大分市学校教育指導方針

○一人一人の社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進
各学校においては、社会や職業との関連を重視しつつ、学校の特色や地域の実情を踏まえ、キャリア教育の目標や育成すべき資質・能力、各教科等との関連性を明確にした系統的な指導を推進することが必要である。

＜キャリア教育の全体像（イメージ）＞



各学校における具体的な取組

各学校におけるキャリア教育の全体計画

キャリア教育の目標 将来への夢や希望をもち自己実現を目指す態度の育成			
指導の重点			
○全教育活動を通して、児童生徒一人一人の個性の伸長を図るとともに、自己有用感をもたせる。			
○身のまわりの仕事や働くことへの関心を高め、職業についての夢や希望、憧れを形成させる。			
○将来に対する進路設計ができ、その達成のための目標に向かって努力する態度を身に付けさせる。			
○児童生徒の自己理解を図り、自分のよさを生かしながら、将来を展望し、たくましく生き抜く力を育てる。			
育成すべき資質・能力（基礎的・汎用的能力）			
人間関係形成・社会形成能力	自己理解・自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
<ul style="list-style-type: none"> ・他者に働きかける力 ・他者の個性を理解する力 ・コミュニケーションスキル ・チームワーク ・リーダーシップ ・社会活動に参画する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の役割の理解 ・前向きに考える力 ・自己の動機づけ ・忍耐力 ・ストレスマネジメント ・主体的行動力 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の理解、選択、処理 ・本質の理解・原因の究明 ・課題発見・計画立案 ・実行力・評価・改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶこと、働くことの意味 ・義務と権利の理解 ・多様性の理解 ・進路設計する力 ・選択する力 ・行動力

各学校において、キャリア教育のねらいや各教科等との関連について、育成すべき資質・能力を「基礎的・汎用的能力」として、教育課程に位置付け、系統的な指導を行っています。

大分県版キャリア・パスポート 「未来をえがくキャリア・ノート」



児童生徒が、自分の考えたことや思ったこと、頑張ったことなどを書き残し、学年、校種間において引き継ぎながら、自らの成長を振り返るとともに、教職員や保護者は、「キャリア・ノート」に書かれた内容を児童生徒理解に役立てます。

各学校におけるキャリア教育の体験活動

まちたんけん【小学校】



小学校では、生活科（1・2年）や社会科（3～6年）の時間に自分たちの地域を巡り、地域にある施設やそこで働く人々について知る学習を行っています。

職場訪問【小学校】



職場訪問では、様々な企業や施設を訪問し、従業員の方々から説明を聴き、働くことの大切さや職業への興味関心を高めています。

中学生との合同体験活動【小学校】



小学生が中学生と一緒に授業を受けたり、一緒に活動を行っている学校があります。小学生にとっては、将来の自分の姿を想像することができます。

職場体験学習【中学校】



働くことの楽しさや厳しさ、やりがいなどを学び、一人ひとりの望ましい勤労観や職業観を育むことを目的に市内小・中・義務教育学校において、職場体験学習を実施しています。

ヤングキャリアアドバイザーによる職業講話【中学校】



中学生が若手社員から志望動機や業務内容等を聴くことにより、働くことの社会的意義を感じ、職業観を形成することを目的とした講話を開催しています。（商工労政課事業）

卒業生による高校体験講話【中学校】



高校1年生が卒業した母校の中学校を訪問し、自分が進学した高校での授業や学校生活等について、後輩に話をしたり、質問を受けたりする機会を設けています。